

事業番号	02 07 01	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地方事務所長総合調整推進事業費				担当課	部局	企画振興部	
						課・室	市町村課	
						E-mail	shichoson@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1 魅力ある地域の創造と発信			実施期間	H24 ~		
	施策の総合的展開	1 県と市町村との協働						

1 事業の概要

目指す姿	元気で魅力ある地域づくりを推進するため、地方事務所が「地域における県行政の総合調整機関」(地方事務所の設置に関する条例)としての機能を最大限に発揮すること。		
------	--	--	--

現状(予算編成時)	地方分権の進展等により、住民に最も身近な基礎自治体である市町村を中心とした元気で魅力ある地域づくりが求められており、地域における地方事務所の役割と重要性は益々高まっている。		
-----------	--	--	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 地方事務所が市町村と連携して自ら事業を実施するための経費のため。 地方事務所の設置に関する条例第1条
	県民との協働による実施: 実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	地域課題の解決に向け、各地域の実情に応じた事業を適時・適切に実施する。(1所1事業以上)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)
地方事務所長総合調整推進事業費	直接	地方事務所長の判断で迅速かつ柔軟に執行できる経費を配分(1所500千円)し、各地域の実情に応じた事業を実施 ・銀座NAGANOにおける東信州のPR(佐久・上小) ・木造住宅耐震改修フォーラムの開催(諏訪) ・地域おもてなし向上セミナーの開催(上伊那) ・産官学連携による「市田柿」の機能性研究(下伊那) ・御嶽山の立体地図(火山ハザードマップ)の印刷(木曾) ・コミュニティ放送による篠ノ井線の情報発信(松本) ・高品質酒米データ分析(北安曇) ・「真田丸」関連イベントの開催(長野) ・北陸新幹線飯山駅開業1周年記念イベントの開催(北信)等	5,000	4,607	5,000
合計			5,000	4,607	5,000

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	5,000	5,000	5,000	5,000
	補正予算				
	合計(A)	5,000	5,000	5,000	5,000
	一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	4,746	4,842	4,607	
概算職員数(人)	0.76	0.76	0.76	0.76	
概算人件費(C)	6,276	6,276	6,290	6,290	
概算事業費(B(A)+C)	11,022	11,118	10,897	11,290	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
地域課題の解決に向けた事業件数	1所1事業以上(32事業)	1所1事業以上	1所1事業以上(40事業)	達成	

目標に対する成果の状況	地域で掘り起こされたニーズに応じた事業を機動的に実施した結果、地域防災力の強化、地域の観光地・物産等の認知度向上・イメージアップが図られた。また、地元農家、酒蔵、県が一体となった酒米(美山錦)の品質向上を目指すプロジェクトの実施や、広域的かつ地域住民を巻き込んだおもてなし向上に向けた事業の実施など、地域一丸となった取組が行われた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・地方事務所が「地域における県行政の総合調整機関」としての機能を最大限に発揮できるよう、平成28年度予算においても同額を計上し、事業評価(自己評価)や事業内容の公表を行いながら、引き続き事業を実施する。 ・現在、現地機関の見直しについて検討されており、そこでの議論を踏まえ、今後の事業のあり方についても検討していく。
--------------------	--